

発行者：  
ナディフ  
奥村、砂島津  
坂井、戸高

# 新たな研究室メンバー

## 留学生との交流



図1 研究室メンバー



図2 お好み焼きを食べに行った時



図3 フクギ並木

坪田研に一月間新たなメンバーが加わった(図1)。インドネシアから留学に来たナディフ君は、一ヶ月間私たちと一緒に研究に取り組みることとなった。私は普段英語を使う機会がないため、初日から会話ができるのか不安に感じていた。しかし、ナディフ君は、私たちの拙い英語を理解してくれて積極的にコミュニケーションをとってくれた。そのため、私たちが感じていた不安は無くなった。ゼミでは、自己紹介と自分の研究について英語で発表を行った。研究について英語で喋るのは初めてだったので、人に理解してもらえないままの時間が多かった。できるだけ難しい単語を使わずに、日本人の学生にも理解できるように心がけた。ナディフ君にも、自己紹介をしてもらい、お互いの親睦を深めた。ナディフ君は、日本の文化が好きで、アニメや歴史等とても詳しいことが分かった。また、彼は研究の合間には、漢字や簡単な日本語を勉強している。日本語の上達の速さには驚いた。そして、私たち

私は、十一月末に沖縄の琉球大学で行われた土木計画学研究会参加した。初めての学会参加及び成果報告であったため、前日から緊張しており、食事も喉を通らなかつた。当日、緊張の中なんとか成果報告を行うことができた。そこで、自分の意見を分かりやすく説明する難しさを感じた。

## 沖縄での学会に参加

やインドネシアの文化をとっても熱心に教えてくれた。例えば、私たちが研究室を退出する際に、Hati-hati(お気を付けて。)と言うようになるなど、インドネシア語を身近に感じることができたと思う。一緒に好み焼きを食べに行ったり(図2)、最終日には、ピザや南国のフルーツを持ち寄りお別れ会を行った。お別れ会の最後には、手紙とプレゼントを渡した。一ヶ月間という短い時間だったが、一生忘れることのできないとても貴重な経験ができた。私たちは、ナディフ君に感謝の気持ちでいっぱいだった。また会える日を心待ちにしている。

学会の空き時間で少し観光することができた。訪れたのは、有名建築物として知られている名護市役所と、沖縄のパワースポットであるフクギ並木(図3)の二ヶ所である。どちらも沖縄の気候を考慮して作られたものが、観光名所となつていることを知り、景観について興味を湧かした。

この学会を通して、発表内容に精通する研究者との意見交換ができたため、今後の研究活動に生かしていきたいと考えている。

## 都市計OB情報

2022年3月に卒業された先輩に

インタビューしました。



**名前** 林 信吾  
**卒業年度** 2021年度  
**勤務先** システム科学研究所  
**仕事内容** 交通計画や交通分析等、交通に関わる仕事をしています。

**研究室での思い出** 雑談したり、一緒にご飯を食べたり、研時間が多かったので、研究室にいた時間がとく時間を使っていたのも楽しかったです。研究室のメンバー(〇氏とW氏)で飲みに行つて、気分転換したのもいい思い出です。

**学生時代にやってよかったこと・後悔していること** 後悔しお声がけいただければ飛んでいきます。

**学生へのメッセージ** 学生は自由に使えるにご飯食べたり、研時間が多かったので、研究室にいた時間がとく時間を使っていたのも楽しかったです。研究室のメンバー(〇氏とW氏)で飲みに行つて、気分転換したのもいい思い出です。

良かったことは、休みをうまく作っているところに行つたことです。

後悔していることは、四回生でイギリスに行つた際にプレミアリーグを見なかったことです。

## 社会の断面

### 適性検査の見直し

企業が採用活動で利用するウェブ型の適性検査において、就職活動中の学生に成りすまして第三者が受検する「替え玉受験」という不正が発覚し、逮捕者が出た。近年、自宅で受検できるウェブ型を利用する企業が増加している中、このような事件を受けてウェブ型の不正行為に対する懸念が高まっている。ウェブ型の試験・検査は経費や時間の節約につながるため、実施者と受検者の双方にメリットがある。今後その機能を持続するためには、実施者が不正行為に対する課題に向き合うことが必要である。また、受検者も適性検査を甘く見ず、入社後の人生を左右する可能性があるという自覚を持つことが必要になってくるのではないだろうか。

# 研究紹介

## 交通シミュレーションを体験して

### ナディフ

ナディフ君は、滞在した一ヶ月間で研究活動を行った。その内容は、松山に実際にある交差点をシミュレーションで再現するというものだ。AVENUEというシミュレーションソフトを使用した。ナディフ君が対象とした交差点は、本町六丁目の交差点である。その交差点は、松山市内で北は北条バイパス、南は市街地、東は道後温泉、西は空港へ向かっている。選んだ理由としては、ナディフ君が滞在していた寮に近く、交通量の多い交差点であるからだ。

ナディフ君は日本語版のマニュアルを翻訳することから始めた。一ヶ月で完成させるのは容易なことではないが、日々研究に熱心に取り組み、わからない点をすぐに質問すること、着実にゴールに近づいて行った。その結果、シミュレーションで交差点の様子を忠実に再現することが出来た。

ナディフ君は感想として、「私の専攻ではなかったのに、ソフトを学ぶことに苦労した。特にコマンドはすべて日本語のため、交通工学の基礎とソフトの使い方を学ぶのに時間がかかった。しかし、英語に翻訳された説明書を読んだ後、私はソフトウエアを操作し、時間通りにプロジェクトを完了させることができた。」と述べていた。私たちに研究の成果発表を行ってくれた(図4、5)。図5の写真の中央の交差点が対象とした交差点である。また、道路上にある小さな赤い点があることを表している。

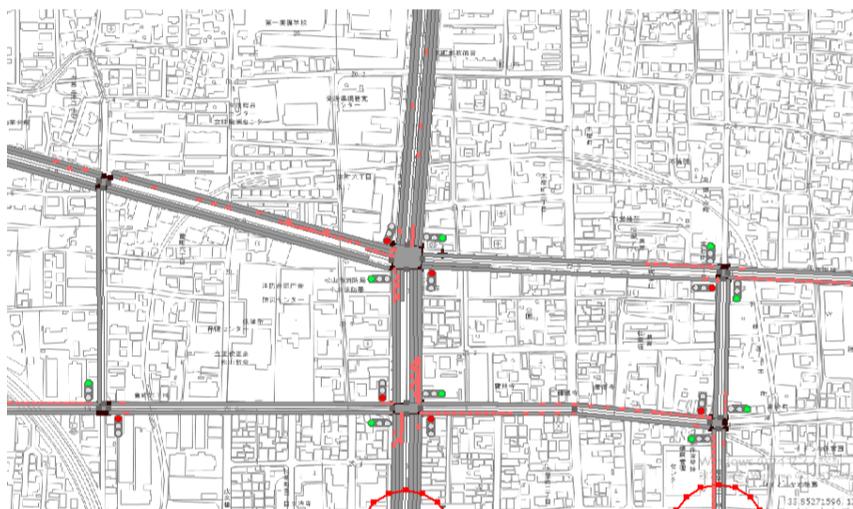


図5 ナディフ君が作成した交差点プロジェクト



図4 研究発表をするナディフ君

## 2022 FIFA ワールドカップ開幕

11月21日にワールドカップが開幕した。ワールドカップは四年に一度、世界の強豪国チームが国や地域、民族のプライドをかけ、サッカーの世界一を争う選手権である。2022年大会の開催国はカタールである。それぞれの地域予選を勝ち抜いてきた世界の強豪32チームが出場している。まず、グループリーグでは32チームを4チームずつに分けて、その中で総当たりの試合を行う。その中で上位2チームが決勝トーナメントに進出できる。日本は、ベスト16が最高成績であるため、今大会では初のベスト8進出を目標に掲げている。日本は、ドイツ、スペイン、コスタリカと同じグループEである。

ドイツとスペインはワールドカップ優勝国であり常に強豪と言われているチームだ。コスタリカもFIFAランキングこそ日本より下であるが、日本のように堅守速攻のチームで弱い相手ではない。現在、対ドイツ戦と対コスタリカ戦の2試合が行われた。対ドイツ戦は、ドイツの勝利を予想する人が多かったが、日本が2-1で歴史的逆転勝利を収めた。そのため、日本は対コスタリカ戦で勝利を収めることでグループ突破に王手をかけることが可能であった。しかし、そう簡単にはいかないのがワールドカップである。対コスタリカ戦では相手の堅守を破ることができず、得点を許し0-1で敗北した。

その結果、グループリーグを自力で突破するには、強豪スペインに勝利するしかなくなった。引き分け以下の場合グループリーグ突破は、他チームとの兼ね合いになつてしまふ。ぜひ日本代表が勝利を収めるため12月1日28時の対スペイン戦を応援しよう(図6)。



図6 対スペイン戦の日程

### 注目選手

日本代表を応援する際に役立つ注目選手を3名紹介します。



名前 三笘薫  
背番号 9  
ポジション FW  
特徴 左サイドから相手を切り裂くドリブル



名前 久保建英  
背番号 11  
ポジション FW・MF  
特徴 狭い空間でも取られないボールタッチ



名前 富安健洋  
背番号 16  
ポジション DF  
特徴 強靱な体で安定したディフェンス